

立命館生存学研究

vol.1

— 目次 —

発刊にあたって	立 岩 真 也	3
特集1 一元から多元に広がる関係へ		
序 論 —— 一元から多元に広がる関係へ	永 田 貴 聖	15
存在論的転回とエスノグラフィー —— 具体的なものの喚起力について	浜 田 明 範	21
〈断絶〉を見据える「対話」 —— 在日朝鮮人-日本人間の相互理解の不可能性を前提とした「共生」倫理	山 口 健 一	33
架橋する「自」と「他」 —— 研究者の多元的ポジショナリティに関するエスノグラフィ	原 めぐみ	45
非当事者として聞き取り調査をすること —— ある日韓ダブルのアイデンティティの事例から	今 里 基	53
朝鮮学校を支援する人びとは誰か —— 民族性と住民性という視点に着目して	山 本 崇 記	63
特集2 『正義・平等・責任』から／とともに生存をめぐる制度・政策についてかんがえる		
序：特集にあたって	安 部 彰	73
「平等」はいかにして「責任」を制御するのか —— 井上彰『正義・平等・責任』岩波書店へのコメント	角 崎 洋 平	77
宇宙的価値としての平等論について —— 井上彰著『正義・平等・責任』をめぐる一考察	堀 田 義 太 郎	83
リプライ	井 上 彰	91
公募論文		
「被害の語りを集積する」ことの検討 —— 村上春樹『アンダーグラウンド』の論理を読む	山 口 真 紀	99
執筆者紹介		109
『立命館生存学研究』公募論文投稿規程		111
